

■まんが表現学科カリキュラムの特色■

■カリキュラムポリシー

まんが表現学科のカリキュラムは、まんがを学ぶプログラム、そして、まんがを通して物事を考える技術を学びます。

まんが表現の技術論・方法論は21世紀、劇的な変動を遂げています。それまでの紙媒体主体の表現からデジタル・ネットワーク技術による映像表現へと進化しています。しかし、こうした激動の時代にあってもまんが表現の基礎や素養は、時代の変化に左右されない表現の基本になる知識・技術たりえます。まんが表現学科では、基本となる創作のための方法を会得するために、理論的に、しかし、それを頭ではなく体で覚えるため膨大な課題制作を課します。

まんが表現学科は、まんがの社会的ニーズに応じて、三つのコース（ストーリーまんが、Webアニメ・コミック、コミックイラストレーション）を設置しましたが、まんが表現学科で学んだ基礎をふまえるあらゆる表現への挑戦も歓迎します。この三つを柱にして、まんがの現場で活躍するプロの教員からまんがを通じた表現を学びます。

1 科目構成

科目の構成はまんが表現学科必修科目、コース選択科目、選択科目の三つから構成されています。

- 1—1 まんが表現学科必修科目は、まんがを多角的に捕らえるコースの基礎となる科目で構成されています。まんがのどのコースを将来選択するにしても、必ず履修しなければならない科目です。来るべき専門コースへの橋渡しをすることを目的とした科目です。
- 1—2 コース選択科目はまんが表現の多様性を三つのコース（ストーリーまんが、Webアニメ・コミック、コミックイラストレーション）に整理した演習中心の専門教育です。二年次後半三年次前半中心の科目であり、これを履修することで、自分のまんがに対する取り組み、軸足を定めてゆきます。可能性のトライアルとして、その後のコースを考える足がかりとしてください。
- 1—3 選択科目はまんがを取り巻くさまざまな表現の知識、技術を具体的に学ぶ科目群です。特に、映像制作やアニメーション、キャラクター制作といったまんが制作にとって非常に重要な講義・演習が用意されています。自分に合った技術を探し出すためにも、さまざまな授業にチャレンジしてください。

2 学年構成

2—1 一年次

徹底的にまんがの基礎を学びます。日本のまんがが表現の特徴である映像的な演出の基礎や物語論に基づくストーリー・キャラクター作りの理論を、大量の反復トレーニングで習得します。三つのコースのどれに進むにしろ、まんがを描く基礎体力は全員が習得します。

2—2 二年次

一年次に学んだ個別の基礎を「まんがを描く」という行為にまとめあげていきます。また、新たなまんが表現の習得のため、web関連の技術やイラスト表現、映像制作の演出技法なども体験します。まんが作品制作に周辺の知識・技術を貪欲に取り込んでください。年度末には、出版社の編集の方々に大学に来校してもらい、プロの目から作品評価を行う機会を設けます。

2—3 三年次

三つのコースのどの領域に重きを置く作品づくりをしていくか、プロとしての将来を見すえ、作品づくりを徹底し、不足する技術を習得します。作品を学外のメディアで展開していく授業や舞台も用意されます。学内の作品発表会も予定しています。また、プロの創り手（まんが家）から企業への就職に変更することを考える学年でもあります。

2—3 四年次

卒業制作として、一年をかけて作品制作に打ち込みます。さらに、できることならプロとしての足場を固める一年であってほしいと願います。

